

柿内賢信記念賞（奨励賞実践賞）2021年度公募要領

- 最終更新日 ()

公益財団法人倶進会 科学技術社会論・柿内賢信記念賞（奨励賞、実践賞）2021年度公募要領公募要領（PDF版） 公益財団法人倶進会では、科学技術社会論・柿内賢信（かきうち よしのぶ）記念賞（奨励賞、実践賞）の公募を下記の要領で行います。ご応募くださいますよう、ご案内を申し上げます。「科学・技術と社会の問題」に関する研究・実践活動を行う個人を幅広く対象としています。科学技術社会論学会の会員に限定するものではありません。また、国内在住である必要はありませんが、選考にあたっては日本の科学技術社会論分野への貢献が考慮されます。なお、過去3年以内に本賞の奨励賞または実践賞を受賞された方の応募申請はできません。2017年度以前に受賞された方は、新規のテーマであれば応募が可能です。また昨年度に引き続き、従来の研究分野と同時に、新型コロナウイルス感染症対策に関する、あるいは今後の新型コロナウイルス感染症対策に寄与するSTS研究・実践を支援します。奨励賞および実践賞については、希望する1部門を選択して1点のみ応募してください。複数部門への応募、あるいは1部門への複数応募は無効になります。なお、内容に応じて、選考委員会の判断により審査部門を変更することがあります。奨励賞・実践賞・今後の発展が期待される研究を行う個人に授与します。実践賞・実践活動（科学技術社会論の社会応用、または社会実践を通じた科学技術社会論の研究）を行う個人に授与します。受賞者には研究助成金（原則として1件につき20万円から50万円）を授与します。本年度の採択件数は奨励賞、実践賞ともに1件から2件を予定しています。研究助成金は、研究用資材・用品の購入、研究図書購入、国内外の会議等への出席、補助者等への謝金など、個人の研究そのものに使用するものとします。助成金受領者の人件費には使用できません。研究助成金は個人に送られますが、希望によって勤務先などに送金することも可能です。ただし、個人・勤務先を問わず、海外への送金はできません。選考は科学技術社会論学会が委託を受け、選考委員会を設置して行います。採択された方には柿内賢信記念賞事務局からその旨を通知します。授与式については昨年度と同様にオンラインで実施することが予想されますが、詳細は受賞者に追ってご連絡します。奨励賞・実践賞については選考結果の決定後、迅速に開示をし、研究に着手をいただきます。選考委員会が公式に発表する以外には選考の詳細は一切開示しません。選考委員名は授賞決定後に公開されます。この研究助成金による研究成果は、科学技術社会論学会に限らずしかるべき学会で発表していただきます。また、受賞から1年を目処に研究成果をまとめた報告書を提出していただきます。応募用紙（研究計画書）は下記のURL（科学技術社会論学会ウェブサイト）からダウンロードできます。記入の上、PDFに変換をした後、PDFファイルを電子メールで事務局までご提出ください。応募用紙ダウンロード 応募の締め切り2021年8月10日（火）17:00 厳守 PDFの送付先・問い合わせ先 科学技術社会論学会 柿内賢信記念賞事務局 E-Mail: kakiuchi.2021[at]gmail.com [at]を@に変えてください 主催公益財団法人倶進会